

事務事業マネジメントシート
(兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 26 年 3 月 20 日作成

事務事業名	スズメバチ等駆除事業 □ 実施計画事業	所属部局	市民部	単位番号	4085				
		所属課室	環境課	課長名	小笠原 良仁				
基本政策	基本 IV 快適で心のかよいあう都市づくり	所属担当	環境保全担当	担当者名	花輪 俊明				
		予算科目	会計	名称	款項	目細目	細々目		
政策	計 画 20 快適生活環境の整備	01	一般	04	01	05	020	08	
		事業区分	□ 国の制度による義務的事業					□ 施設等維持管理事業	
			□ 県の制度による義務的事業					□ 補助金交付事業	
施策	体 系 33 生活環境の保全	□ 市の制度による義務的事業					<input checked="" type="checkbox"/> その他の事業		
		□ 義務化されている協議会等の負担金							
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	法令根拠							
事業の内容 事業の概要	事業は次年度以降3年間の計画内容も記載						事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)		
	H25年度事業名:スズメバチ駆除事業 公共施設等へ巣をつくるスズメ蜂等を駆除し、安全、安心に施設が利用できるよう環境の保全に努める。						項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)
		手数料	155						
							計	155	

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

①活動	
25年度活動実績	公共施設へ巣をつくるスズメ蜂等の駆除のみ業者へ依頼し、市民からの依頼によるものは、業者を紹介するのみとする。
26年度活動予定	公共施設へ巣をつくるスズメ蜂等の駆除のみ業者へ依頼し、市民からの依頼によるものは、業者を紹介するのみとする。
②対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	
施設利用者、スズメ蜂。	
③意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	
公共施設等へ巣をつくるスズメ蜂の駆除することにより、利用者が安全、安心に利用できるようになる。	
④上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
施設にスズメ蜂が住み着かないようにする。	

⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:業者に駆除を依頼した件数	件
イ:	
ウ:	
⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:利用者数	人
イ:利用者からの苦情及び駆除回数	回
ウ:	
⑦成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:公共施設からの駆除件数	件
イ:	
ウ:	
⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:苦情数	回
イ:	

		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算見込・実績)	26年度 (予算・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータル	事業費	国庫支出金 千円							
		県支出金 千円							
		地方債 千円							
		その他 千円							
		一般財源 千円	187	130	155	300	300	300	
		事業費計 (A) 千円	187	130	155	300	300	300	0
	人件費	正規職員従事人数 人	3	3	3	3	3	3	
		延べ業務時間 時間	366	366	366	366	366	366	
		人件費計 (B) 千円	1,666	1,666	1,666	1,666	1,666	1,666	0
		(A)+(B) 千円	1,853	1,796	1,821	1,966	1,966	1,966	0
活動指標		ア:件	61.0	68.0	31.0	50.0	50.0	50.0	
対象指標		イ:							
成果指標		ウ:							
上位成果指標		ア:回							

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	南アルプス市消防署発足以来、市民サービスの一環で開始された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	近年蜂駆除出動件数が多く、本来の消防業務に支障が出ている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	南アルプス市消防署より近年出動件数が多く、本来の消防業務に支障が出ているため、蜂駆除を廃止してもらいたいとの要望が出ていた。平成21年度で消防署駆除廃止。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	数年前より消防署からの要望で、H21に消防署での蜂駆除を廃止した。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	特にないが、施設の所管課が事業執行することが可能か課内で検討した。

事務事業名	スズメバチ等駆除事業	所属部	市民部	所属課	環境課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 公共施設を利用する市民に安心、安全に利用してもらうため、施策に結びついている。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 公共施設を利用する市民に安心、安全に利用してもらうため、税金の投入は妥当と思われる。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。□ 民間・NPO □ 市民協働 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 公共施設等の駆除については、安全面を考慮し継続する必要があるが、施設の所管課による事業執行により対応は可能である。
	④成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 自然の昆虫が対象となるため、受身の事業となっています。
有効性評価	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 この事業で行わなくとも、蜂駆除は当該施設で行えは影響なし。 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 当該施設の蜂駆除業務となるので休止廃止できる。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 小さい蜂の巣については、職員で対応可能かと思われる。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 平成22年度から業者への委託業務のみであるので最低限度の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 公共施設のみの駆除であるため、公平・公正と思われる。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・危険性の低い巣については、業者を使わず各担当で殺虫剤対応し駆除した。 ・各公共施設の駆除費用を環境課で一括計上しているが、施設の所管課及びとの協議を進める。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)
<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	
(2)改革改善案について	※ 廃止・休止の場合は記入不要
・各公共施設の駆除費用を環境課で一括計上しているが、施設の所管課及び財政との協議を進めていく。	
(4)改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5)事務事業優先度評価結果 平成25年度
	成果優先度評価結果 (12)
	コスト削減優先度評価結果 (6)